

松下幸之助記念財団 研究助成 研究報告

【氏名】 日下部尚徳

【所属】(助成決定時) 大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程

【研究題目】 バングラデシュにおける貧困とサイクロン被害の因果関係に関する研究

【研究の目的】

バングラデシュは洪水・干ばつ・サイクロンといった自然現象が、災害と呼ばれる規模で人びとを襲う災害リスクの高い国である。サイクロンだけを見ても 1970 年に 50 万人、1991 年には 14 万人の人びとがサイクロンによって命を奪われている。これらは 20 世紀以降に世界を襲ったサイクロンによる人的被害(台風・ハリケーンを含む)の上位 2 位を占めている。最近では、2007 年 11 月 15 日午後 18 時半頃に南部沿岸部に上陸した観測史上最大級のサイクロン「シドル(SIDR)」によって、死者・行方不明者計 4000 人以上、被災者約 900 万人という大きな被害が発生した。報告者はシドル上陸から 1 カ月後と 2 カ月後の 2 度にわたり 10 箇所の被災地を訪問し、被災者計 100 人に対してベンガル語による半構造的インタビュー調査を実施した。この調査から被災当日の住民の行動を質的に分析したところ、サイクロンの襲来の事実を知りながらも、事前に避難行動に移れない住民の存在が明らかになった[Kusakabe 2008]。本研究では、サイクロン高度危険地域 200 世帯に対し、質問票を用いた家計調査と避難に対する意識調査をおこない、住民の避難意思阻害要因を質的・量的の両面から分析し、阻害要因が何であるのかを特定することを目的とする。

【研究の内容・方法】

報告者は、2010 年月および 10 月に、ノアカリ県ハティア郡ハティア島において、堤外地に住む 200 世帯を対象として、家計調査と避難に対する意識調査をおこなった。本調査の目的は、サイクロン被害が集中する堤外地の住民が、サイクロン襲来の事実を知りながらも避難行動に移らない原因となる「避難阻害要因」を明らかにすることにある。

対象地域の選定

バングラデシュの中でも特にサイクロンに対する脆弱性の高い地域であると考えられるハティア島をケーススタディの対象地域として採り上げる。理由は以下の通りである。

- ①ハティア島は、高度危険地域に位置し、70 年サイクロン、91 年サイクロンで大きな被害が発生した地域である。特に 91 年サイクロンでは約 6000 人が島内で亡くなっている。
- ②沿岸南西部は、07 年にサイクロン「シドル」、09 年にサイクロン「アイラ」によって大きな被害を受けたことから、一時的に避難意識が高まっている可能性がある。また、いまだ復興過程にあり、援助団体からの様々な支援によって住民の生活環境に変化がみられる。一方でハティア島は両サイクロンの影響をほとんど受けていないため、住民の避難意識、生活環境が現段階(2010 年)では最も平常に近いと考えられる。
- ③沿岸南東部は、バングラデシュ第 2 の人口を有し、経済的な重要都市でもあるチッタゴン、世界最長の海岸線をもつ観光地コックスバザールがあることから、91 年以降集中的に防災対策が取られてきた。加えて、近年の繊維業の発展により、近郊住民の生活水準も上がりつつある。そのため、沿岸南東部地域は他の沿岸地域に比べ脆弱性が軽減されていると考えられる。

以上のことから、ハティア島は住民の避難行動および災害脆弱性にあたる外部要因の影響が他の高度危険地域に比べ少ないと考えられる。

調査対象者

1年以上調査対象地域に住居がある世帯の世帯主または世帯主に準ずる者とした。結果として本調査の調査対象者は全員男性となった。

抽出方法

現地行政機関では、対象地域の世帯リストを保有していないことが明らかになったため、上記 5 地域において世帯リストを作成し、リストから 40 世帯をランダム・サンプリングによって抽出した。

調査方法

訪問面接法により、各世帯を訪れ、本人との対面でおこなった。

【結論・考察】

サイクロン警報が貧困層が集中する地域の住民に伝えられる段階では、「サイクロンが来るらしい」といった程度の情報になっているケースが大半である。そこから自分達の地域にどの程度の影響があるのかを判断し、避難すべきかどうかを決断するのは、教育水準の低い住民にとっては極めて困難な作業である。そのため、警報が現実性をもって住民に受け止められず、過去に暴風雨を家に留まって切り抜けてきた経験に基づき、命の危険を脅かすような脅威が目の前に明らかな形となって表れるまでは家に留まると考えられる。加えて、現金所得が限られているがために、家計にとって重要な資産となっている換金性の高い家財を守りたいというという、生活水準維持を優先する住民の思考が、避難意思を阻害すると考えられる。